JICA海外ボランティア 表敬訪問

6月25日(水)、7月から2年間、青年海外協力隊として派遣さ れることとなった、那覇市出身・在住のお二人が、出発を前に、 市役所を訪れました。榎砂千可さん(写真:左)は、大学で美術を 専攻し、今年3月卒業。派遣先のフィジーでは子ども達の情操教 育が課題となっていることから、榎さんは複数の小学校を巡回 し、美術の楽しさを広めていくとのことです。西原 浩平(写真: 右)さんは、コンピューター関連会社で勤務した経験を生かし、 PCインストラクターとしてカメルーンへ派遣されます。同国で は中学校・高等学校で情報処理教育の強化に力を注いでいる ことから、教師や子ども達への指導にあたるとのことです。



平成26年度 第1回なは市民

6月26日(木)、「平成26年度 なは市民協働大学」が 開講しました。この事業は"協働によるまちづくり"の 実践者を育てよう!というものです。翁長市長による講話 では、協働によるまちづくりのキャッチフレーズである "いい暮らしより 楽しい暮らしを"について、「まちづくり の中で、人のために、地域のために、自分の力を分け与える、 それを実践していくことが問題解決のひとつのきっかけに なるのでは」と受講生へ新たな発想と長期的な視野で協働 によるまちづくりに取り組んでほしいと話しました。





大規模な災害時における 協力と遺体の取扱い等に 関する協定書調印式

7月1日(火)、「大規模な災害時における協力に関する協定書お よび大規模な災害時における遺体の取扱い等に関する協定書」 の調印式が行われました。イオン琉球株式会社、株式会社サン エー、金秀商事株式会社とは、被災者への食糧品や飲料水など の生活物資の提供などに関する協定、株式会社サンレーとは、 被災して亡くなられた方のご遺体の運搬・安置などに関する協 定、有限会社中央環境サービス公社とは、避難施設等における、 し尿処理に関する協定をそれぞれ締結しました。翁長市長は「本 市の防災機能が高まるとともに、更なる防災意識の高揚、普及啓します。毎週末は、那覇でレッツスウィング♪ 発に繋がるものと確信しております」とあいさつしました。





夏の風物詩! 太鼓フェスティバルin那覇

6月29日(日)、今年で8回目を迎える、「太鼓フェス ティバルin那覇 創作エイサーコンテスト lが那覇市民 会館で行われました。創作エイサーを通じて、伝統文 化の継承と文化の創造、青少年の健全育成を図ること を目的に毎年開催されています。今年も、市内外から 参加した各団体がオリジナリティにあふれた演舞を 披露し、会場は熱気と興奮に包まれました。今年、見事 グランプリに輝いたのは「那覇太鼓」。ロックを取り入 れ情熱あふれる演舞が評価されました。



NAHA JAZZ開催! みんなでレッツスウィング♪

7月4日(金)、週末の那覇の夜をスイングしながら楽し む「なはジャズ」がスタートしました。オープニングイベン トは、パレットくもじ前広場で行われ、夕暮れのひととき、 観客は心地よい演奏に身をゆだねスイングしました。 3年目を迎えた今年は、来年2月まで毎週金曜日、土曜日 の午後6時~9時、パレットくもじ前広場、てんぶす前広 場、さいおんスクエア、カフーナ旭橋前広場をメイン会場 とし、新たに、市内のジャズバーやライブハウスでも開催



第14回成人式大賞2014 「話題賞」受賞報告

6月30日(月)、本年度の各中学校区成人式への取り組みが、 「第14回成人式大賞2014(運営:新成人式研究会)において、見 事「話題賞」を受賞し、受賞報告のため実行委員会を代表して、 下地紗央さんと平田望さんが市役所を訪れ、受賞のよろこびを伝 えました。同賞は、全国的に開催されている成人式の改善・改革を 図ることをねらいとし、すぐれた成人式を実施した市町村に賞が与 えられます。受賞に際し、同会からは「従来からの地域特性が豊か な催事を中心に、若者たちの新しい動きも取り入れて、企画・運営 方法が話題性に富んだユニークなもの」と講評されました。



7月9日(水)、台風の影響で実施が心配された「横浜 DeNAベイスターズ対読売ジャイアンツ」のプロ野球 公式戦が沖縄セルラースタジアムで開催されました。 この日の入場者数は16,416人。職場や草野球チーム の仲間など、また家族3世代で楽しむ姿がみられまし た。読売ジャイアンツの背番号6番のユニフォームを 着た、北島小椰さん(中1)は「巨人が負けたのは悔し かったけど、坂本選手を近くで見れて良かった」とうれ しそうに話してくれました。



平成26年度 那覇市優秀建設工事表彰式

7月11日(金)、「平成26年度 那覇市優秀建設工事表彰式」が行われました。 本表彰は、本市発注の建設工事の中から、特に優秀な工事を施工した業者の方 を表彰するもので、適正な施工に力を注いでいる建設業者に感謝の意を表すと ともに建設業者の施工技術向上にも貢献することを目的に行われています。 翁長市長は、「県内の建設業界を取り巻く環境は、業績回復の兆しを見せては おりますが、まだ厳しい状況があるといわれ、そのような中、より柔軟な発想と 創意工夫により課題を克服され、難易度の高い工事に対処し、優秀な成果を 収めておられます」とあいさつしました。受賞した施工者のみなさんは、「今回 の受賞を励みに、今後もより一層頑張っていきます」と喜びを語っていました。

